

2023年9月5日(火)教会のデボーション

ルツ記2章1～23節

『御恵みを惜しまない主』

■ ルツ記1章1～22節 『先の見えない中での一歩』

1. ナオミは、異教の国であるモアブで、夫も息子も財産も何もかも失ってしまった。
2. ナオミは、二人の嫁に自分の母の家に帰るように説得した(祈りをもって主にゆだねた)。
3. ルツは、ナオミを通してまことの神を知った。ナオミとともにベツレヘムで新しい生活が始まる。

本論:『御恵みを惜しまない主』 *ルツ記2章を読んで答えましょう

1. 「落ち葉拾いのルツ」(2章1～7節) *落ち穂拾いは貧者への社会保障制度(レビ 19:9-10)。

①(ナオミにとって)ボアズとはどんな人物ですか。

→

②ルツは生活のために落ち穂拾いにいきますが、神はどのように彼女を導かれましたか。

→

③ルツは見知らぬ土地でどのような思いで落ち穂拾いをしていたと思いますか。

→

2. 「ルツに好意を寄せるボアズ」(8～16節) *神を信頼する者に、神の見えない御手が働く。

①ボアズはどうしてルツに便宜を図り、彼女が働きやすいようにしてあげたのですか。

→

②ルツはボアズの親切な言葉に対して、どのように答えていますか。

→

③15、16節のボアズの言葉から、ルツが働くにはどんな困難があったと思いますか。

→

3. 「主の導きを語るルツ」(17～23節) *神にとって偶然はなく、すべてが必然である。

①ナオミはどんな思いでルツの帰りを待っていたのでしょうか。ルツを見てどう思ったのでしょうか。

→

②ナオミはルツがボアズのところで働いたことを聞いて、どのように思ったのでしょうか。

→

③『買い戻しの権利のある親類』とはどういうことですか。 *買い戻し(ゴーエール)

→

【適用と分かち合い】

1. 「はからずも」「ちょうどそのとき」とは、何を表していますか。(神の時、場所、出会い)
2. ボアズはどうしてルツに好意を持っていったのですか。(困難にもめげず、ひたむきな姿勢)
3. 神が今日、あなたを用いて親切にしようとしている人は誰でしょう。ルカ10:37